

東京地学協会平成 22 年度研究・調査助成金等交付申請の受付について

下記の要領により、標記の受付をします。希望者は所定の用紙により申請してください。申請用紙は本協会事務局から取り寄せるか、あるいは、東京地学協会ホームページの「研究助成」コーナーから、PDF または WORD の様式をダウンロードしてお使いください。締切りは平成 22 年 3 月 15 日（本協会事務局必着）です。

I. 助成の対象と応募資格

本協会の会員、または、研究グループ（代表者は会員とする）が、平成 22 年 6 月以降、原則として向こう 12 ヶ月の間に行う以下の活動。

- 1) 地学に関する研究・調査（下記の b, c, d に研究グループとして申請する場合は、原則として、グループ構成員中、該当する者が、代表者を含めて 2 分の 1 以上であること。）
 - a. 一般会員枠：年齢制限なし。
 - b. シニア会員枠：満 60 歳以上。ただし、常勤の研究職・教員等を除く。
 - c. 若手会員枠：35 歳未満。ただし、定職のあるものは除く（ポスドクは定職に含めない）。
 - d. 外国人会員枠：留学生を含む。
- 2) 地学の教育法や教材開発などの地学の普及活動
- 3) 国内で開かれる地学に関する国際研究集会
 - a. 助成金
 - b. 貸付金

原則として、申請者（研究グループ構成員を含む）は、上記の 1) ～ 3) に重複申請を行ってはならない。また、過去 5 年間（平成 17 年度～平成 21 年度）に助成を採択された申請者（研究グループ構成員を含む）は、上記の 1) ～ 3) に申請を行ってはならない。1 件あたりの金額は 1) と 2) についてはそれぞれ 50 万円以内、3) については 100 万円以内とする。なお、本協会の理事、評議員、助成委員会委員は、助成の対象としない。

II. 助成金の使途

- 1) 助成金の使用は原則として申請書の使用明細にしたがい、当該研究を遂行するために直接必要とする経費に限るものとする。
- 2) 原則として認められる経費を例示すれば、次のようなものがある。

現地調査を行うための旅費（交通費・宿泊費等）、資料購入費、研究を補助する者に支払う賃金・謝金、実験・分析などを外注するための雑役務費、所属機関の規定等により所属機関が必要とする管理費。
- 3) 原則として認められない経費を例示すれば、次のようなものがある。

パソコンやプリンター、汎用ソフトなど当該研究以外にも広く使える汎用的な機器の購入費、概論的・教養的な書籍の購入費、学会費、学術大会の参加旅費・登録料・予稿集購入費、報告書の作成・印刷費、事務費等の間接経費、飲食費、家賃。

- 4) 上記3) に例示されたものでも、当該研究の遂行上必要性が高いと認められる場合は、事前に協議のうえ使途として認められる場合もある。

III. 助成等を受けたものの義務

- 1) 助成終了年（採択年度の翌年）の7月末までに、領収証（コピー可）を貼付した会計報告（明細書）1部を本協会あてに提出すること。
- 2) 助成終了年（採択年度の翌年）の7月末までに、様式に則った研究成果報告書および500字程度の研究成果の邦文報告2部を本協会あてに提出すること。
- 3) 研究成果（概要でも可）は、地学雑誌に投稿するなど公表に努めること。公表の際は、研究の遂行のために東京地学協会の調査・研究（国際研究集会）助成金を使用したことを明記すること。
- 4) 貸付金は1年以内に返還するものとし、その間は無利子とする。
- 5) 研究期間は、原則1年とする。
- 6) 助成金の不適切な使用や著しい義務違反があった場合は、助成金の返還を求めることがある。

IV. 審査決定

平成22年5月下旬（予定）。

2009 年度（第 13 回）海外見学旅行のお知らせ

今年度（平成 21 年度）の海外見学旅行は「中国太行山脈の地形地質とジオパークめぐり」です。日程等は以下のとおりです。お申し込みの締め切りは、平成 22 年 1 月末日（2 月 1 日協会必着）です。参加ご希望の方は、東京地学協会事務局（FAX：03-3263-0257，e-mail：chigaku@abox9.so-net.ne.jp）へご連絡ください。なお、詳細については、随時、協会のホームページよりご案内いたします。あるいは、協会事務局（電話：03-3261-0809）にお問い合わせいただいても結構です。

日 程：平成 22 年 3 月 14 日（日）～ 20 日（土） 6 泊 7 日

目 的：中国東部太行山脈南部（河南省・山西省）の地質と地形を見学し、世界ジオパーク「雲台山地質公園」と、「大溪谷国家地質公園」などの中国国家地質公園をめぐり、先カンブリア紀の砂岩、カンブリア紀の石灰岩、峡谷、準平原遺物、黄土高原などの見学をおこないます。

案 内 者：清川昌一（九州大学地球惑星科学部門：地質学）、岩田修二（立教大学観光学部：地形学）、現地日本語通訳つき。

主催（使用旅行会社）：キャラバントラベル（観光庁登録旅行業第 1341 号）

募集人数：20 名（最少催行人数 10 名）

旅行費用：10 名以上の場合 1 名あたり 168,000 円

15 名以上の場合 1 名あたり 160,000 円

20 名以上の場合 1 名あたり 152,000 円

1 人部屋追加料金 16,800 円

2009 年度「日帰り見学会」のお知らせ

平成 21 年度の日帰り見学会を以下のように開催することになりました。テーマは「青梅の段丘と上総層群」です。お申し込みの締め切りは、平成 22 年 1 月末日（2 月 1 日協会必着）です。参加ご希望の方は、東京地学協会事務局（FAX：03-3263-0257，e-mail：chigaku@abox9.so-net.ne.jp）へご連絡ください。なお、詳細については、随時、協会のホームページよりご案内いたします。あるいは、協会事務局（電話：03-3261-0809）にお問い合わせいただいても結構です。

日 時：平成 22 年 3 月 7 日（日）日帰り

内 容：羽村のまいまいず井戸、狭山丘陵の展望、玉川上水、立川断層の低断層崖、上総層群の層相と前期更新世の広域テフラ、メタセコイア、象の足跡、上総層群を不透水層とするわき水、最終氷期の段丘面などを見学します。

案内者：植木岳雪（産総研）ほか

集合と解散：拝島駅集合・立川駅解散、貸切りバス利用 定員 30 名